

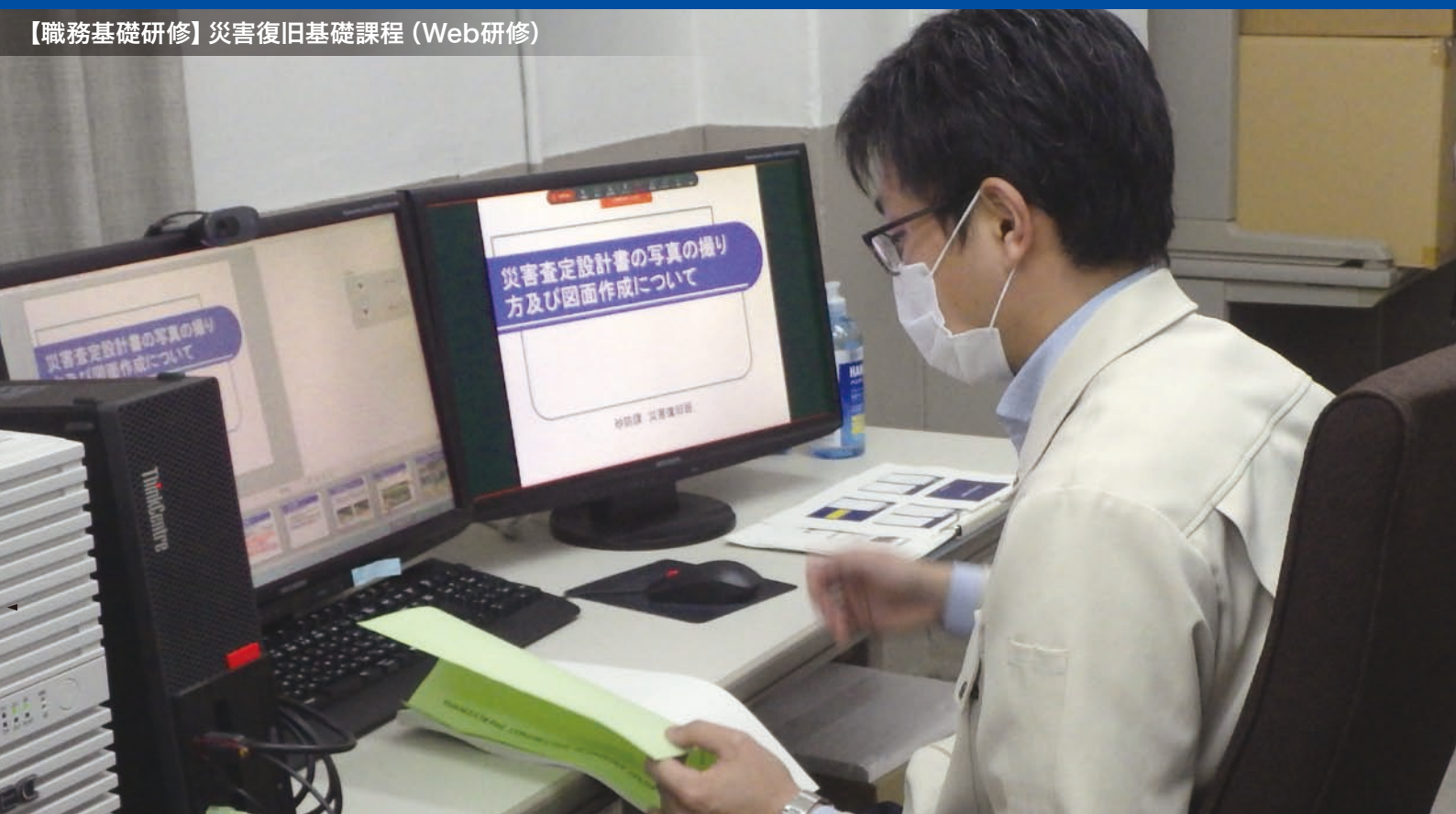
山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol. 70

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和3年7月27日

【職務基礎研修】災害復旧基礎課程 (Web研修)



【実務能力研修】砂防実務課程 (Web研修)



ごあいさつ
新任職員紹介
令和3年度研修計画について
センター業務の紹介～技術マニュアル作成業務～
HPリニューアルのお知らせ
「Web研修」を実施
研修受講生20,000名を達成!

ごあいさつ

一般財団法人山口県建設技術センターの業務運営につきましては、設立以来、皆様方に格別の御支援、御協力を賜っており、厚くお礼を申し上げます。

私は、長井前理事長が令和3年3月末で退任したことに伴い、その後任として4月より理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

当センターは、建設技術者の資質の向上を図るとともに、県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行を支援し、もって良質な社会資本の構築に寄与することを目的に、山口県及び県下全市町の出資により平成7年4月に設立されました。

その後、平成24年4月1日には、「一般財団法人」に移行し、9年を経過したところです。

この間、建設技術者の人材育成や構造物の品質向上に係る調査研究等の公益目的事業を着実に進めるとともに、技術研修、設計積算、工事管理等の業務を通じ『公共工事の発注者支援機関』としての使命を果たしてまいりました。

こうした中、全国では、昨年、九州に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」や平成30年に本県など西日本を襲った「平成30年7月豪雨」、平成28年の「熊本地震」などの大規模自然災害が頻発しており、厳しい財政状況の中、引き続き、防災・減災対策を着実に推進する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大を契機として、インフラ分野におけるDXが加速化しており、今後、取組の具現化を図り、インフラメンテナンスの高度化・効率化や計画的な公共インフラの維持管理に繋げるとともに、3次元データを活用した生産性向上や働き方改革を進める必要があります。

このほかにも、将来にわたって地域を支えつづけることができる建設産業を構築するため、若い担い手の確保・育成など、県および市町における土木建築行政には喫緊の課題が山積です。

当センターとしては、こうした諸課題に的確に対応すべく、これまで築いてまいりました県及び市町との信頼・協力関係のもと、新たな観点も取り入れ、発注者支援機関としての使命を積極的に果たしていく考えでありますので、引き続き皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、お願いいたします。



理事長 阿部 雅昭

新任職員紹介 ～よろしくお願ひします～

技 術 部



宮崎 浩司 課長

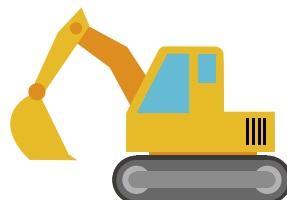
みなさんから信頼されるセンターを目指して頑張っております。何でも気軽に相談してもらえたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



西川 裕輔 主任

皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、円滑な業務執行のお役に立てるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ヨロシク
お願ひします



令和3年度の研修計画について

(一財) 山口県建設技術センターで実施する研修について、今年度計画のご案内をします。当センターでは、「毎年実施するもの」と「2年に1回実施するもの」の2種類のサイクルで研修を実施しており、今年度は以下の全22課程を予定しています。

日程については変更になることがありますので、所属への案内文やセンターHPにより最新情報を確認してください。

また、研修に参加される際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、マスク着用や手指消毒のご協力をよろしくお願ひします。なお、発熱や体調不良の方は受講を控えていただきますようお願いいたします。

令和3年度 研修計画総括表

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	日数※1)	人数	研修講師
職務基礎研修 (5課程)	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方(工事) ・設計書の作成演習(工事) ・土木事業と工事監督	県・市町の 新規採用 土木職員等	3	40	技術管理課 センター
	新任者(後期)	・業務成績評価制度 ・地質調査について ・施工管理と工事検査 ・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託)		3	40	技術管理課 センター
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の現地演習		3	40	砂防課
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習		1	30	センター
	CAD	・電子データ活用の取組 ・CADの概要 ・CADの操作演習(初級、中級)		2	30	技術管理課 センター
実務能力研修 (11課程)	設計積算	・積算概念 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習 ・積算書作成ミス想定事例	県・市町の土木職で 経験が5年程度の 職員等	②	30	技術管理課 センター
	道路維持管理実務	・道路維持管理一般 ・重要構造物の維持管理 ・道路法規論と道路の管理		①	30	道路整備課
	河川実務	・河川事業一般 ・河川管理施設等構造令の解説 ・河川計画演習 ・河川施設維持管理 ・河川環境 ・ソフト対策 ・ダム一般 ・河川に関するトピックス		②	30	河川課
	都市計画実務	・都市計画の概要 ・景観行政 ・都市計画法関連 ・事例紹介 ・都市計画事業(街路、公園、市街地開発)		②	30	都市計画課
	砂防実務	・砂防事業の概要 ・砂防の技術基準と設計演習 ・急傾斜地対策の技術基準と設計演習 ・地すべり対策の技術基準 ・砂防等区域指定と管理 ・土砂災害防止法		②	30	砂防課
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・品質管理 ・施工管理 ・写真管理 ・工事現場の安全確保		②	30	技術管理課 センター
	施工管理実務(後期)①②	・工事監督の留意事項 ・工事関係書類の作成マニュアル ・現場実習		各1	30	センター
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約、決算事務の流れ ・社会資本整備総合交付金の制度 ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法 ・会計検査の動向 ・土地収用法概略		②	30	技術管理課 センター
	住民合意	・プレゼンテーション(概論、基礎) ・プレゼンテーション演習		①	30	センター
	災害復旧工法	・河川・海岸災害復旧工法 ・道路・橋梁災害復旧工法 ・改良復旧工法 ・復旧工法演習		②	30	砂防課
	転勤対象者技術	・設計・契約変更ガイドライン ・建設業法に基づく適正な施工体制 ・入札・契約制度の改正 ・設計書作成の留意点 ・総合評価入札方式		①	30	技術管理課
専門能力研修 (5課程)	道路計画	・道路計画の概論 ・将来交通量の推計 ・費用便益分析 ・道路概略設計演習	県・市町の土木職で 経験が10年程度の 職員等	②	30	道路建設課
	擁壁設計	・擁壁工設計概論 ・擁壁工設計の基本 ・擁壁工設計演習		②	30	センター
	交差点設計	・交差点設計マニュアル解説 ・交差点設計演習		②	30	道路整備課 センター
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究		1	30	センター
	新技術・新工法	・i-constructionの取組み ・3次元測量・設計 ・ICT土工の監督・検査要領		②	30	技術管理課 センター
管理能力研修 (1課程)	検査技術	・検査制度 ・成績評価制度(工事・業務) ・模擬工事検査	県・市町の土木職で経験が 20年程度かつ若手職員へ 指導・監督を行う職員等	②	30	技術管理課 センター
その他 (独自研修)	積算システム(市町)	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	市町の土木職員等	1	30	センター
	橋梁設計・維持管理研修※2)	・橋梁長寿命化計画 ・橋梁構造の基礎知識 ・橋梁補修・補強設計 ・橋梁点検実習	県・市町の土木職員等	③	30	道路整備課 センター

※1) 日数が○数字の研修は部分受講を可とします。 ※2) 橋梁設計・維持管理研修は、公益目的事業として実施します。

令和3年度 研修実施日程表(7月以降)

※研修会場: セミナーパークほか

月	研修項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
7	(実務) 施工管理実務(前期)			土	日			●	●		土	日			●	●		土	日				海	ス	土	日						土			
	(実務) 災害復旧工法			土	日						土	日							土	日				海	ス	土	日						土		
	(実務) 河川実務			土	日						土	日							土	日				海	ス	土	日						土		
	(専門) 新技術・新工法(ICT活用)			土	日						土	日							土	日				海	ス	土	日						土		
8	(実務) 道路維持管理実務	日			●			土	山	振					土	日																			
	(実務) 住民合意	日						土	山	振					土	日																			
	(実務) 予算法令実務	日						土	山	振					土	日																			
9	(専門) 道路計画	●	●								土	日																							
	(実務) 都市計画実務	●	●								土	日																							
10	(専門) 擁壁設計										土	日																							
	(実務) 施工管理実務		土	日			●			土	日														土	日								土	
11	(公益) 橋梁設計・維持管理		土	日						土	日					●								土	日									土	
	(管理) 検査技術		土	日						土	日					●								土	日									土	
12	(基礎) 新任者(後期)		土	日						土	日													土	日									土	
	(専門) 交差点設計		土	日						土	日													土	日									土	
12	(専門) 現場研修	●									土	日																							
		●									土	日																							

※日程は、変更になることがあります。(最新日程はセンターHPをご覧ください) 日付のマークに()が付いている研修は、センター独自研修及び公益目的事業研修です。

センター業務の紹介 ～技術マニュアル作成業務～

当センターの業務に、「技術マニュアルの作成業務」があります。これは、県からの委託を受けて道路、河川等の技術基準や、工事の施工管理に必要な事項のマニュアル化などを行う業務です。

今回は、センターが最近携わった、工事の施工管理に関するマニュアル類を紹介しますので、日常業務の参考としていただければと思います。

土木工事書類作成マニュアル 令和3年3月 山口県土木建築部



平成28年3月に策定された「土木工事書類作成マニュアル」では、工事書類に係る受発注者の共通認識を図り、双方の事務手続き等の適正化及び簡素化を目的として、土木工事共通仕様書や工事請負契約書、諸法令等における工事関係書類の位置づけと取り扱いが明確にされており、これまでも積極的に活用されているところです。

今回の改訂では、山口県土木工事共通仕様書の改訂内容に加え、ICT活用工事やモバイル端末を用いた遠隔臨場などのデジタル技術の導入等や、建設副産物に係る集計システムの変更、押印廃止等を踏まえた改訂が行われました。

特に、近年、建設現場の生産性向上に向けて、山口県においてもICT活用工事を積極的に導入していることから、ICT活用工事における工事書類を整理した「ICT活用工事書類作成マニュアル」が追加で掲載されており、より一層の受発注者の業務効率化、工事書類の適正化に寄与する「ツール」として活用されることが期待されています。

施工計画書作成マニュアル 令和3年3月 山口県土木建築部

「施工計画書作成マニュアル」は、山口県土木工事共通仕様書に準拠した施工計画書の記載例を示すことで、受注者が施工計画書を作成する際の参考にしていただき、同時に発注者が施工計画を把握する際の資料として活用することを目的としています。

今回の改訂では、ICT活用工事やモバイル端末を用いた遠隔臨場などデジタル技術の導入や、建設業法等の改正を踏まえた改訂が行われました。

特に、近年、建設現場の生産性向上に向けて、山口県においてもICT活用工事を積極的に導入していることから、UAV（無人航空機）やTLS（地上レーザースキャナー）等の3次元計測技術やICT建設機械を活用する場合の標準的な施工計画書の記載例を示した「ICT活用工事：起工測量編」および「ICT活用工事：工事編」が追加で掲載されています。



土木工事写真の撮り方と写真管理のポイント 令和3年3月 山口県土木建築部



「土木工事写真の撮り方と写真管理のポイント」は、実際の工事写真を用いながら、撮影方法のポイントやアドバイス、留意点を示し、公共工事の一層の品質確保に向けて効率的で効果的な写真管理が行われることを目的に取りまとめられたものです。

今回の改訂では、ICT活用工事やモバイル端末を用いた遠隔臨場などのデジタル技術の導入に対応するため、改訂が行われました。

特に、近年、建設現場の生産性向上に向けて、山口県においてもICT活用工事を積極的に導入していることから、UAV（無人航空機）やTLS（地上レーザースキャナー）等の3次元計測技術やICT建設機械を活用する場合の写真管理の実施事例が追加で掲載されています。

また、遠隔臨場による段階確認・立会を実施する場合の記録事例についてもあわせて掲載されています。

今回ご紹介したマニュアル類は、県技術管理課のHPに掲載されています。
(<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18000/gizyutukizyun/20120720001.html>)

センターHPのリニューアルのお知らせ

当センターでは、ホームページを平成13年3月に開設し、皆様にご活用いただいているところですが、令和3年3月末にリニューアルを行いました。これまで同様に、センターの概要や設立の目的、組織の紹介、研修や受託事業等の案内や、市町・県職員限定ページでは、過去の研修テキスト、コンクリート施工記録データ及びコンクリート施工記録データ集計表、センター情報誌のバックナンバーなどを公開しています。業務に役立つ情報を提供しておりますので、積極的なご活用をお願いします。

また、更なる内容の充実を図るため、センターホームページに対するご意見ご要望等ありましたら気楽にご連絡ください。

※注意：市町・県職員限定ページにログインするには、IDとパスワードが必要です。ご不明な方は、センターまで問い合わせください。



▲ リニューアルしたトップページ
(<https://www.yama-ctc.or.jp/>)



▲ 市町・県職員限定ページ



▲ 過去の研修テキスト



▲ コンクリート施工記録データを公開

センター研修で初の「Web研修」を実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月6日に開催した「転勤対象者技術課程」、令和3年5月31日～6月1日に開催した「災害復旧基礎課程」、及び令和3年6月16日～17日に開催した「砂防実務課程」で、当センターでは、初のWeb研修を実施しました。一部通信トラブル等によりご迷惑をお掛けしましたが、講師の方々及び受講生の皆様のお陰で、無事大きなトラブル等なく研修を進めることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

研修後に受講生から提出していただいたアンケート結果を集計したところ、「会場への移動時間が節約できるので良かった」「Web研修の方が参加しやすい」など、Web研修に対して概ね好評を得ていることから、今後も研修内容等に応じてWeb研修の導入を考えております。より参加しやすい研修かつ有意義で実のある研修を目指してまいりますので、引き続き皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、お願いいたします。

センター研修受講生 20,000名を達成!

(一財)山口県建設技術センターは、発注者支援機関として平成7年に設立されて以来毎年研修を実施しており、今年5月に開催しました「積算システム課程」で、受講生20,000名を達成しました。

記念すべき20,000名目の受講生となった岩国土木建築事務所の高橋さんに、研修について何点か質問しました。



修了証書

第 20000 号

Q1 今回の研修は、どうでしたか?

A1 まだ経験が浅いこともあり、知らない言葉が多くあったため理解が追い付かない箇所も多くありました。しかし、実際の仕事で役に立つ研修だと感じることはできました。

Q2 今回の研修で印象に残ったことは何ですか?

A2 一日という短い研修でしたが、逆に短いからこそ習った積算システム全てが印象に残りました。

Q3 今後の抱負は?

A3 周りの当たり前のように何でも答えてくれるような先輩方のようになりたいです。

Q4 最後に一言お願いします。

A4 コロナで研修期間が短く、感染対策を徹底させなければならない状態が続いていますが、自分たちの次の代では通常運転に戻れるようにコロナが収束することを願っています。

研修でお疲れのところ、質問に快く答えていただきました。ぜひまた研修に参加いただきますようお願いいたします。ありがとうございました。

編集
後記

新型コロナウイルスの影響で長引く巣ごもり生活、みなさんはどうお過ごしですか?家での時間が増えた今こそ、土木施工管理技士や技術士などの資格取得にチャレンジしてはいかがでしょうか?

受験して合格することがもちろん目標ですが、それに向けて努力する過程や、自己研鑽を続けることで、自身の技術力を高め、自信を持った仕事ができるようになるのではないのでしょうか。

まずは、「一歩」を踏み出してみましよう!

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp

【ホームページ】 <https://www.yama-ctc.or.jp>

〒753-0073 山口市春日町8-3春日山庁舎

一般財団法人 山口県建設技術センター

情報誌編集委員会 宛

【TEL】 083-920-1233

【FAX】 083-920-1288